

# 浦幌町の蝶類レポート I

円子紳一

## 1、はじめに

昭和46～47年の2年間、浦幌町内で蝶の採集を行なった。日曜日の気まぐれな採集の為、調査は充分でない。また、本町における生息数・分布などについても全く予備知識がなく、わずかに郷土博物館に阿部宏氏寄贈の標本が展示されているのを知るのみである。

ここにレポートする蝶は、小生が採集した種のみであるが、阿部氏の標本については、今回調査する機会がなかったため、次回に紹介したいと思う。

## 2、報告

気象的には、昭和47年7～8月の平均気温が20℃で、降水量は同51mmと極めて少なかった。さらに、年間を通して晴れの日が194日(53%)、曇り139日(38%)、雨[雪]33日(9%)となり、これは43年の天候とほぼ一致するが、このことは蝶の生息・活動には非常に重要なかかわりをもっているように思われる。現に、47年10月にウラナミシジミを採集したことが、それを裏付けていると言えよう。

また、山林のほとんどが針・広葉混合樹林であることから、植物相もかなり豊かなものがあると考えられるが、それはまた、食草の点から蝶の生息には決定的な要因ともなることが多い。

川上地区は、リンゴシジミ、ジョウザンシジミ(いずれも北海道特産種)の産地である本別町に接しており、そこで採集も期待することができ

る。

以上のことから、本町にはかなりの蝶類が生息している可能性がある。この2年間でも60種になる確認をしたが、阿部氏のと合せると70種を越え未確認種で発見される可能性のある種を加えると80種を越すことも考えられる。これは北海道産の80%にあたり、決して少ないものではない。

### I アゲハチョウ科

#### 1、ウスバシロチョウ

産地：浦幌町炭山、♀、1971.6.29；  
東山、♀、1972.7.9

*Parnassius glacialis* Butler

#### 2、ヒメウスバシロチョウ

*Parnassius stubbendorfii hoenei* Schweitzer  
万年、♂、1971.6.12；千才、2♂♂、1971.6.26；東山、♂♀、1972.7.9.

#### 3、アゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus

万年、♀、1971.6.12

#### 4、キアゲハ

*Papilio machaon|hippocrates* C. et R. Felder  
福山、♂、1971.6.6；千才、♀、1971.6.26；  
帶富、♂、1972.8.6

#### 5、カラスアゲハ

*Papilio bianor dehaanii* C. et R. Felder  
福山、♂、1971.6.6；万年、♀、1971.9.24；  
帶富、♀、1972.9.30

#### 6、ミヤマカラスアゲハ

*Papilio maackii wtanus* Fenton

## 目次

P 2 浦幌町の蝶類レポート	円子紳一
P 5 シンポジューム『中浦幌駅通所と中川北松』	博物館報告編集局・編
P 12 受贈図書 編集後記	

表紙写真 元中浦幌駅通所遠景

- 福山、2 ♀ ♂、1971.8.16  
II シロチョウ科
- 7、エゾシロチョウ  
*Aporia crataegi adherbal* Fruhstorfer  
川上、♀、1972.6.20
- 8、モンシロチョウ  
*Pieris rapae crucivora* Boisduval  
万年、♀、1971.5.18；1 ♀ ♂、1971.8.25；  
帯富、♀、1972.10.1
- 9、スジグロシロチョウ  
*Pieris melete* Ménétrière  
常豊、♀、1971.5.30；万年、♀、1971.8.7；  
帯富、♀、1972.7.9
- 10、エゾスジグロシロチョウ  
*Pieris napi nesis* Fruhstorfer  
福山、♀、1971.5.30；万年、1 ♀ ♂、1971.8.  
.25；帯富、2 ♀ ♂、1972.4.29；♂、1972.1  
0.1
- 11、ツマキチョウ  
*Anthocharis scolytus* Butler  
常豊、2 ♀ ♂ 1 ♀、1972.5.30；福山、3 ♀ ♂  
1971.6.6；千才、♀、1971.6.26
- 12、エゾヒメシロチョウ  
*Leptidea morsel* Fenton  
万年、♀、1971.5.16；♂、1971.8.5  
帯富、2 ♀ ♂、1972.4.29
- 13、モンキチョウ  
*Colias erate poliographus* Motschulsky  
常豊、2 ♀ ♂ 1 ♀、1971.5.30；帯富、♀ 2 ♀  
♀、1972.8.6；♀、1972.10.1
- III ジャノメチョウ科
- 14、ヒメウラナミジャノメ  
*Ypthima argus* Butler  
万年、♀、1971.6.27；帯富、♀、1972.7.6
- 15、ジャノメチョウ  
*Minois dryas bipunctatus* Motschulsky  
万年、♀、1971.6.27；帯富、♀、1972.7.6
- 16、ウラジャノメ  
*L. a. jeyoensis* Matsumura  
万年、2 ♀ ♂、1971.7.10；帯富、♀、1972.7.9
- 17、クロヒカゲ  
*Lethe diana* Butler  
千才、1 ♀ ♂、1971.6.26；帯富、♀、1972.7  
.9
- 18、キマダラヒカゲ  
*Neope goschkevitschii* Ménétrière  
千才、♀、1971.6.26
- 19、シロオビヒメヒカゲ  
*C. h. latifasciata* Matsumura  
万年、1 ♀ ♂、1971.6.12；東山、♀、1972.7  
.9
- 20、オオヒカゲ  
*Ninguta schrenckii memalca* Fruhstorfer  
万年、2 ♀ ♂、1971.8.7；帯富、♀、1972.8.6
- IV タテハチヨウ科
- 21、コムラサキ  
*Apatura ilia substituta* Butler  
福山、♀、1971.8.16；帯富、♀、1972.8.6
- 22、イチモンジチョウ  
*Ladoga camilla japonica* Ménétrière  
万年、1 ♀ ♂、1971.8.7；帯富、♀、1972.7.9
- 23、コミスジ  
*Neptis sappha intermedia* W. B. Pryer  
千才、♀、1971.6.26；帯富、♀、1972.7.6
- 24、ミスジチョウ  
*Neptis philyra excellens* Butler  
福山、♀、1971.8.16
- 25、フタスジチョウ  
*Neptis rivularis aino* Shirôzu  
千才、♀、1971.6.26；帯富、♀、1972.7.6
- 26、サカハチチョウ  
*Araschnia burejana strigosa* Buteer  
福山、♀、1971.6.6；♂、1972.8.16
- 27、アカマダラ  
*Araschnia levana obscura* Fenton  
常豊、1 ♀ ♂、1971.5.30；万年、♀、1971.8  
.7；帯富、♀、1972.4.29
- 28、シータテハ  
*Polygonia c-album hamigera* Butler  
福山、♀、1971.6.6
- 29、エルタテハ  
*Polygonia vau-albam samurai* Fruhstorfer  
福山、♀、1971.8.16；帯富、♀、1972.4.29
- 30、アカタテハ  
*Vanessa indica* Herbst  
万年、♀、1971.8.5；♂、1971.10.24
- 31、ヒメアカタテハ  
*Vanessa cardui* Linnaeus

- 帶富、2♀♀、1972.10.7
- 32、キベリタテハ  
*Nymphalis antiopa asopos* Fruhstorfer  
 福山、♀、1971.6.6
- 33、クジャクチヨウ  
*Inachis io geisha* Stichel  
 万年、♂、1971.4.11；♂、1971.8.7；  
 住吉、♀、1972.9.14
- 34、ルリタテハ  
*Kaniska canace no-japonicum* von Siebold  
 福山、1971.6.6 (採集できず)
- 35、コヒオドシ  
*Aglais urticae connexa* Butler  
 万年、♀、1971.7.10；東山、1♀♀、1972.7.9
- 36、カラフトヒヨウモン  
*Clossiana iphigenia sachalinensis* Matsumura  
 常豊、♂、1971.5.30；福山、2♂♂、1971.6.6
- 37、ミドリヒヨウモン  
*Argynnis paphia* geisha Hemming  
 万年、♂、1971.8.7；福山、1♀♀、1971.8.16
- 38、メスグロヒヨウモン  
*Damora sagana liane* Fruhstorfer  
 帯富、♀、1972.8.6
- 39、オオウラギンスジヒヨウモン  
*Argyronome ruslama lysippe* Janson  
 千才、♂、1971.8.7
- 40、ウラギンスジヒヨウモン  
*Argyronome laodica japonica* Ménétriès  
 万年、2♂♂、1971.8.7
- 41、クモガタヒヨウモン  
*Argynnis anadyomene midas* Butler  
 東山、2♀♀、1972.7.9；帶富、♀、1972.10.1
- 42、ギンボシヒヨウモン  
*Mesoacidalia aglaja basalis* Matsumura  
 万年、♂、1971.6.27；♂♀、1971.8.25；東山、♀、1972.7.9
- 43、ウラギンスジヒヨウモン  
*Fabriciane adippe pallescens* Butler  
 万年、♂、1971.6.27；帶富、♂、1972.7.9
- V シジミチョウ科
- 44、オオミドリシジミ  
*Favonius orientalis* Murray  
 万年、♀、1971.8.31；帶富、♀、1972.8.6
- 45、ハヤシミドリシジミ
- Fauonius ultramarinus hayachii Shirôze  
 福山、2♂♂、1971.8.16
- 46、ウラゴマダラシジミ  
*Ar topoetes pryeri* Murray  
 万年、2♂♂、1971.7.10
- 47、アカシジミ  
*Japonica lutea* Hewitson  
 厚内、♀、1971.8.1；千才、1971.8.7 (採集できず)
- 48、カラスシジミ  
*Sirymonidia w-album* fentoni Butler  
 万年、♂、1971.8.2；福山、♀、1971.8.16；東山、2♂♂、1972.7.9
- 49、トラフシジミ  
*Rapala arata* Bremer  
 千才、2♂♂、1971.6.26
- 50、ベニシジミ  
*Lycaena phlaeas daimio* Seitz  
 万年、♀、1971.6.25；帶富、♂、1972.8.6；♂、1972.10.1
- 51、ウラナミシジミ  
*Lampides boeticus* Linnaeus  
 帯富、♂、1972.10.7
- 52、ゴマシジミ  
*Maculinea teleius ogumae* Matsumura  
 万年、♂、1971.8.7
- 53、ルリシジミ  
*Celastvina argiolus ladonides de l'Orza*  
 常豊、1♀♀、1971.5.30；万年、♀、1971.7.10；帶富、♂、1972.8.6
- 54、ツバメシジミ  
*Fveres argiades hellotia* Ménétriès  
 福山、♂、1971.6.6；万年、♀、1971.8.25；帶富、♂、1972.8.6
- 55、ヒメシジミ  
*Plebejus argus micrargus* Butler  
 帯富、1♀2♀♀、1972.7.9
- VII セセリチョウ科
- 56、チャマダラセセリ  
*Pyrgus maculatus* Bremer et Grey  
 常豊、♂、1971.5.30；福山、♀、1971.6.6
- 57、ミヤマセセリ  
*Erynnis montanus* Bremer  
 福山、♀、1971.6.6

58、キバネセセリ

Bibasis aquilina chrysaeglia Butler

福山、♀、1971.8.16；万年、♂、1971.8.21

59、コチャバネセセリ

Thoressa varia Murray

千才、♂、1971.6.26；万年、♂、1971.7.10

；；帶富、2♀♀、1972.7.6

60、コキマダラセセリ

Ochlodes venata herculea Butler

住吉、♂、1971.7.30；帶富、2♂♂、1972.7

.6；2♀♀、1972.8.6

3、おわりに

以上のように、アゲハ、シロチョウ、タテハ類についてはその全種を、ジャノメ、セセリ類は2～3種程度を残すだけであるが、シジミ類にいたつては未確認種が3分の2ほどあり、今後徹底した調査が必要である。

さて、私達が住む浦幌町の自然は、今どんな状態にあるのだろうか。河川は改修され、洪水は少なくなっているが、それと同時に単調な一直線の流れには、魚の住む場所も減少している。山林は抜採が進み、たとえ植林されてもトドマツ、カラ

マツなどの針葉樹林となり、植物相は単純化する。それによって、昆虫相も単調になり、それを餌とする鳥類などにも影響して、生態形はアンバランスになり破壊される。

そんなことを考えると、現在残されている浦幌の自然を、たとえわずかでも知り、いつまでも記録しておく必要性を感じずにはいられない。それはまた、私達に与えられた課題であろう。またその指導機関として、郷土博物館が益々充実した活動をされることを期待する。

(浦幌町農協企画室勤務)

参考文献

- ① 横山光夫 『原色日本蝶類図鑑』
- ② 白水 隆 『原色図鑑日本の蝶』
- ③ 藤岡知夫 『図説日本の蝶』
- ④ 古川晴男 『昆虫の事典』
- ⑤ 京浜昆虫同好会 『新しい昆虫採集』(上)
- ⑥ 浦幌町史編さん委員会 『浦幌町史』
- ⑦ 浦幌消防署 『昭和47年気象概況表』

注 北海道特産種とは、日本においては北海道のみに生息しているものをいう。

〈シンポジューム〉

## 中浦幌駅逓所と中川北松 I

博物館報告編集局・編

期日：1972年12月23日（土）

会場：十勝郡浦幌町字留真 田中 利氏宅

出席者：中川政雄（中川北松長男）

：中川シズ（中川北松長女）

：田中 利（現駅逓所所有者）

：高松孝行（浦幌町教育委員会社会教育係長）

聞き手：山崎 徹（北海道池田高等学校教諭・池田町史編さん室）

：後藤秀彦（浦幌町郷土博物館）

山崎 明治29年には、十勝では福井県から随分十勝に入っています。近くで言いますと池北線に高島というところがございますが、あそこの「青山」

という団体が福井県なんです。

中川シ やはり父親がつれて来た人がいるのです。カマドをもたせた人が30何軒があるんです。

山崎 池田はですね、およそ70戸が大野郡の人もいれば坂井郡の人もいる。夕べたまたま古いお寺を十勝で訪ねた時に、そのお寺は福井県のお寺でしたね、珍しく浄土真宗の高田派のお寺なんです。29年にむこうから来た、ご先代の方の動機といいますかね、なぜ北海道に渡ってこられたのでしょうか。

中川政 私のところですか。やはり北海道にね、土地をもらって百姓をやるつもりで。まあ、北海道なら土地はいくらでももらえるというようなことで乗り込んで來たんです。